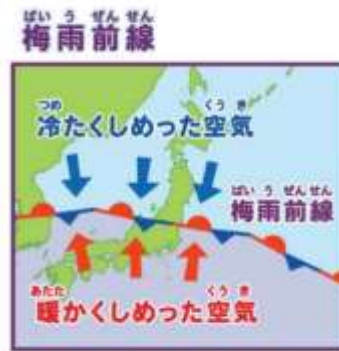


6月15日（木）雨の量

「梅雨」に入り、雨が降る日が増えてきます。稲や花にとっては、うれしい季節なのかもしれません。



さて、空から降る雨や雪

などの水の量を、天気予報では「降水量」と言っています。

雨の量のことです。水の量と言えば、L、dL、mLを算数で習います。

しかし、降水量は長さの単位「mm」で表しています。

これは、降った水がどこにも流れ去らずにそのままとどまった場合の、水の深さを測っているのだそうです。

降水量1mmというのは、コップなどの容器に、1時間で1mmの深さの水がたまるということです。

雨の日に、まっすぐな筒型の入れ物を、平らなところに置いてみましょう。大きい容器と小さい容器を置いて比べると、水の深さはほぼ同じになるはずです。これが、降水量です。ぜひ、雨の日、実験してもらいたいです。

村越 新